

取扱説明書

黒球式暑さ指数計 熱中アラーム

TC-301



[お願い]

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

※本書に記載されているイラストはイメージです。

もくじ

本器について

本器について	3
安全上の注意	4
使用上の注意	6
正しく測定するために	8
各部の名称／付属品	9

準備する

電池を入れる／交換する	11
-------------	----

使いかた

暑さ指数注意レベル	13
アラーム音量の切替方法	14
表示切替方法	15
WBGT設定アラームモード	16
電源を切る方法・入れる方法	19
測定範囲外の表示について	20
つり下げ用アタッチメントとカラビナ／三脚用電池フタ	22

必要なとき

熱中症予防指針	27
水分・塩分補給の目安	28
故障かな?と思ったら	29
仕様	30

本器について

気温・相対湿度と暑さ指数(WBGT)を把握して、日々の健康管理にお役立てください。

※本器は熱中症を予防できる商品ではありません。測定結果はあくまでも目安としてご活用ください。

■ 屋外でも屋内でも使用可能

普通の温度計では、日射や地面からの照り返しによる熱(輻射熱:ふくしゃねつ)を測定できません。そのため炎天下では正確な暑さ指数(WBGT)が求められません。本器は黒球を搭載して日射や輻射熱を測定しているため、屋内外問わず炎天下でも暑さ指数(WBGT)を測定することができます。

■ 屋内・屋外自動切り替え

本器は、乾球温度と黒球温度の差を利用して「日射がある場合」または「日射のない場合」を自動で判断してWBGTを計算しています。

■ 暑さ指数注意レベルをお知らせ

暑さ指数(WBGT)が20℃以上になると、「日常生活における熱中症予防指針」に基づく「注意・警戒・嚴重警戒・危険」の暑さ指数注意レベルを判定表示、また10分間隔でアラームが鳴ります。(☞P.13)

■ 暑さ指数(WBGT)について

暑さ指数=WBGT(Wet Bulb Globe Temperature=湿球黒球温度)は、暑さの厳しさの程度を示す指数です。気温だけでなく、汗のかきかたに関係する湿度、日射・照り返しなどの輻射熱(ふくしゃねつ)を取り入れて計算される暑熱指数のことで、乾球温度(気温)、湿球温度(湿度に関係)と黒球温度(輻射熱)の値を使って計算します。単位は(℃)です。

[日射のある場合]

$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$

[日射のない場合]





$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$

本器では、乾球温度は温度センサーで測定し、湿球温度は湿度センサーで測定した相対湿度と乾球温度より演算して求めています。黒球温度は直径33mmの黒球で測定した値より標準の直径150mmの黒球温度に換算しています。

安全上の注意

本書では、使用される人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。

本文をよくお読みいただき、本器を正しく使用してください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷 ^{※1} を負うおそれのある」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害 ^{※2} を負うおそれまたは物的損害 ^{※3} が発生するおそれのある」内容です。
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 必ず守る	「必ず守っていただく強制」内容です。
お知らせ	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

※1:重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3:物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

安全上の注意(つづき)

警告



- 使用前および使用中に本器に異常が確認されたら使用しない
→異常があるまま使用されると、けがや事故が発生するおそれがあります。
- 本器や電池を加熱しない
→本器の変形や電池の発火により、けがや火災のおそれがあります。
- 乳幼児や子供の手が届くところに保管しない
乳幼児や子供だけで使用させない
→電池などの小さな部品を飲み込み、窒息するおそれがあります。
また感電やけがをするおそれがあります。
万が一、飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

注意



- 分解や改造、修理をしない
→けがや感電のおそれがあります。
- 本器に強い衝撃を与えない
本器を落とす、または本器に物を落とすなど、強い衝撃を与えない
→本器が破損して、けがをするおそれがあります。
- カラビナなどを持って振り回したりしない
→当たってけがをするおそれがあります。
また破損するおそれがあります。
- 付属のつり下げ用アタッチメントを強く引っ張らない
→切れてけがをするおそれがあります。
- 電池フタのフックには付属のつり下げ用アタッチメント
以外は取り付けない
フック部分を引っ掛けて使用しない
→フックが破損してけがをするおそれがあります。

使用上の注意

取り扱い、保管について



禁止

- 指定の電池(CR2032)以外は使用しない
→故障のおそれがあります。
- 高濃度の揮発性有機化合物、酸、アルカリ、腐食性ガス、還元性ガス、シリコーンを含むスプレーなど強いにおいのある環境下で使用、保管しない
→故障のおそれがあります。
- 保管条件を超える高温または低温、高湿または低湿で長時間の使用、保管しない
→正確な測定ができなくなるおそれがあります。
保管条件を超えた状態で長時間置かれた場合は十分換気がされた、保管が可能な環境に移動して、12～24時間程度放置してから使用してください。
- 通信機能付きの機器、電磁波を発生する家電製品、および強力な電磁波のある環境では使用しない
→本器が誤動作して電池寿命に影響を及ぼすおそれや、正確に測定できないおそれがあります。
→電子レンジやワイヤレス通信機器、および電線、発電所、電波塔の近くなどから可能な限り遠くに離れて使用してください。





必ず守る



- 電池は⊕⊖の方向を正しく入れる
→故障するおそれがあります。
(長期間使用しない場合は電池を本器から取り外してください。)
- 十分換気をされた雰囲気で使用や保管をする
- 使用しないときはガスなどの影響を防ぐため、付属の保管袋に入れて保管をする
→正確な測定ができなくなるおそれがあります。
- 三脚などを使う場合、十分な強度のあるものにしっかりと固定してください
→転倒などによる、故障のおそれがあります。

使用上の注意(つづき)

防じん・防水について

 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 水に浸けない、水洗いはしない →通気口内部のセンサーが水でぬれた場合は、乾くまでは温度・湿度が正しく測定できないことがあります。● 40℃以上のお湯や蒸気をかけない →JIS規格のIP65(防じん・防水性能)を満たすよう設計されておりますが、使用状況により防じん・防水性能の維持が困難になる場合があります。また、破損や故障の原因になったり正しい測定ができなくなります。● 電池フタが外れた状態では使用しない● 砂やほこりなどの多いところで電池フタを開閉しない
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 電池フタのスライドロックはしっかりと閉じる

お手入れについて

 禁止	<ul style="list-style-type: none">● アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない →故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。 本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● ボタンの隙間や通気口などに粉じんやほこりが入り込んだときは、ほこりを吸い取るなど掃除をしてください →ボタンの動きが悪くなったり温度・湿度が正しく表示できなくなる場合があります。

本器の廃棄について

お住まいの市区町村の定めに従って、電池を抜いてから廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村にご相談ください。小型家電リサイクル法に基づき、お住まいの市区町村または、認定事業者による回収にご協力ください。

電池の廃棄について

お住まいの市区町村の定めに従って、廃棄してください。使用済み電池を廃棄する場合は、必ず端子をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆ってください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村にご相談ください。

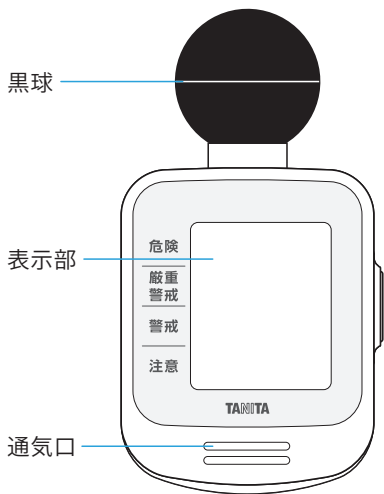
正しく測定するために

以下の内容を守らないと正しく測定できないおそれがあります。

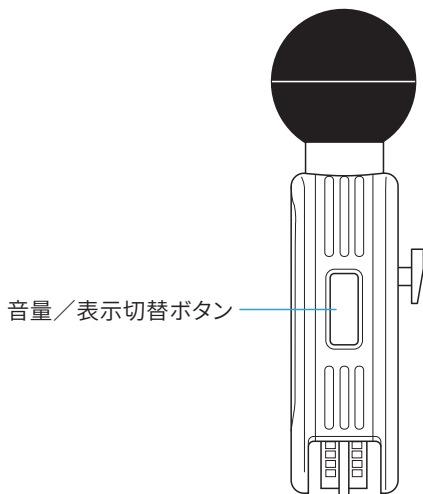
- 電源を入れて測定値が安定するまで10分以上お待ちください
- 地面から高さ90cm～150cmで使用してください
- 風速が0.3m/s～3m/sの環境で使用してください
- 本器を長く手に持ったり、体温や湿度の影響を受けやすい箇所に身に付けしないでください
- ベンチの上や地面(コンクリートや芝生の上など)に直に置かないでください
フックなどにつり下げて使用してください。
- 屋外で使用するときは、黒球が陰にならないようにしてください
腰、リュックサックなどにつり下げて使用してください。

各部の名称／付属品

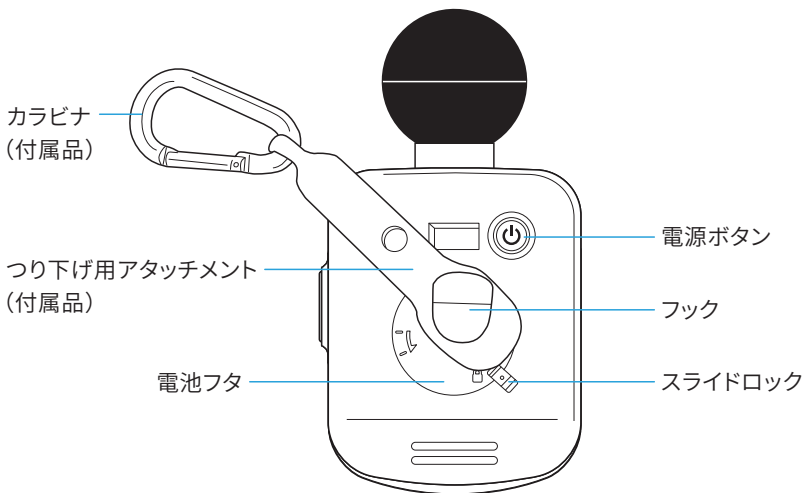
正面



側面



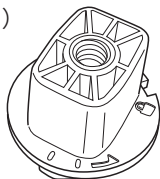
背面



各部の名称／付属品(つづき)

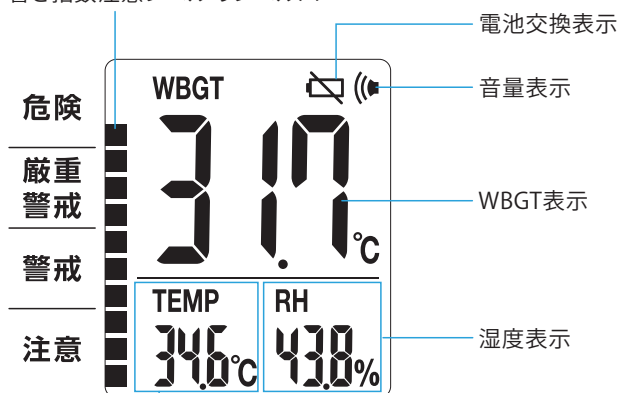
三脚取り付け用電池フタ

(付属品)



表示部

暑さ指数注意レベルのレベルバー



気温表示または黒球温度表示


付属品

- お知らせTC-301(保証書付)
- 三脚取り付け用電池フタ
- つり下げ用アタッチメント
- お試し用電池:CR2032コイン形リチウム電池
- カラビナ
- 保管用袋(本器が納められている袋)

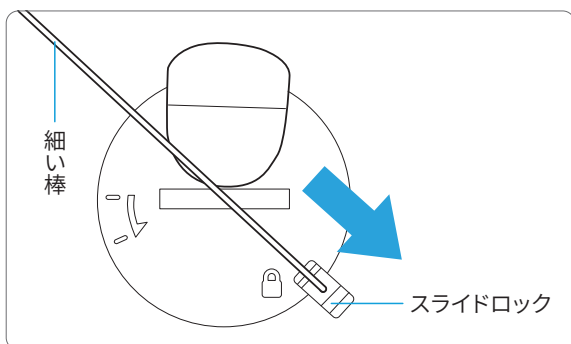
※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室(最後のページ参照)までご連絡ください

電池を入れる／交換する

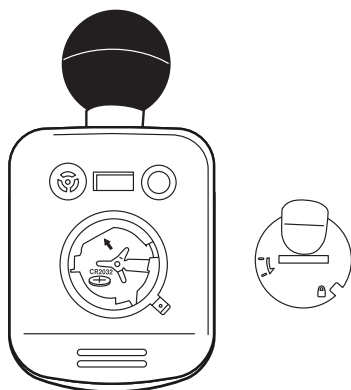
お知らせ

- 電池を入れると「ピッ」の音とともに電源が入り、測定結果を表示します。
- 付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- 電池が消耗すると、表示画面に「」が表示されます。速やかに新しい電池 (CR2032) と交換してください。

- ① スライドロックのくぼみに細い棒を入れて矢印の方向に移動させる。

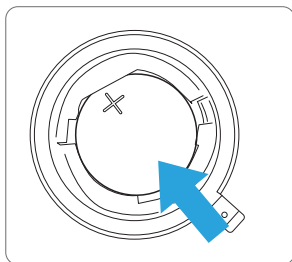


- ② 電池フタをメダル形状のものを使用して外す。

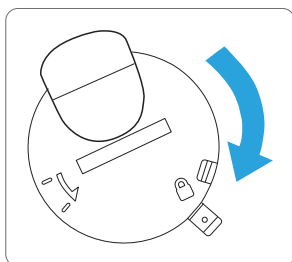


電池を入れる／交換する (つづき)

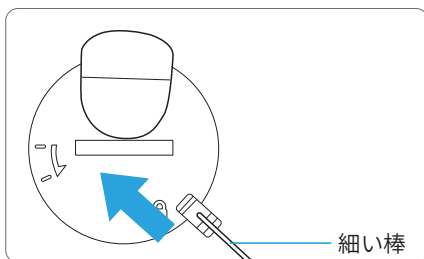
- ③ 電池 (CR2032) を ⊕ 側を上にして、矢印の方向から入れる。



- ④ 電池フタを矢印の方向に回す。



- ⑤ スライドロックのくぼみに細い棒を入れて矢印の方向に移動させる。

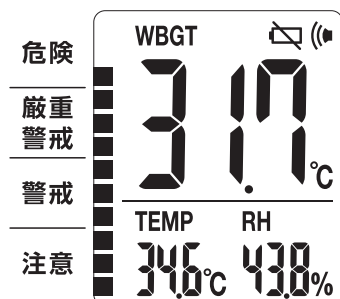


電池を入れると「ピッ」の音とともに電源が入り、測定結果を表示します。

- 出荷時は、WBGT表示・気温表示・湿度表示と暑さ指数注意レベルを表示します。

暑さ指数注意レベル

暑さ指数 (WBGT) が20°C以上になると、「WBGTによる温度基準域」に基づく4段階（「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」）の暑さ指数注意レベルを12のレベルバーで表示します。



WBGTが温度基準域に達していると、電源を入れてから10分間隔で、注意レベルのアラームが鳴ります。

音量／表示切替ボタン  を押すと止まります。

WBGTによる温度基準域	アラームの種類
危険	3秒間「ピー」と2秒休止の繰り返し、約15秒間鳴ります
嚴重警戒	「ピーピー…ピー」約15秒間鳴ります。
警戒	「ピーピーピーピー」を3回繰り返し、約3秒間鳴ります
注意	「ピーピー」と約1秒間鳴ります

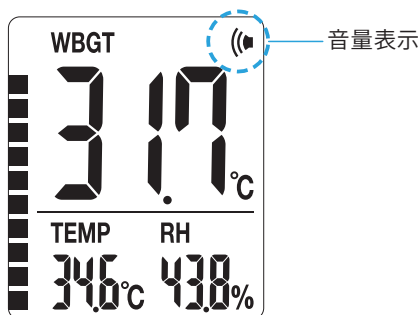
※WBGTによる温度基準域は、「日本生気象学会：日常生活における熱中症予防指針 Ver.4, 2022」を参照してください。(☞P.27)


お知らせ

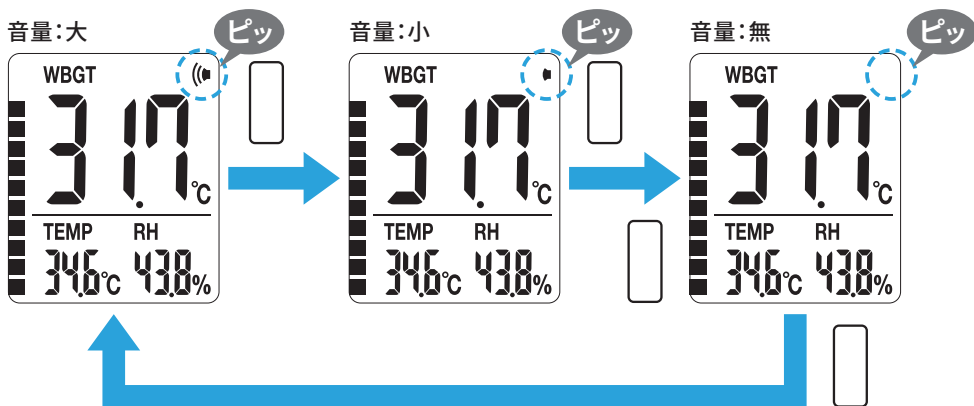
- ・ WBGT20°C未満ではアラームが鳴りません。
- ・ WBGT設定アラームモードで測定した場合は、設定したWBGTを超えたときのみアラームが鳴ります。
また、アラームの種類は「危険」のときと同じ鳴りかたをします。(☞P.18)

アラーム音量の切替方法

音量は「大」「小」「無」の3段階で切り替えできます。



音量／表示切替ボタン  を約3秒間長押しすると、音量表示が切り替わり、アラームの音量が変わります。



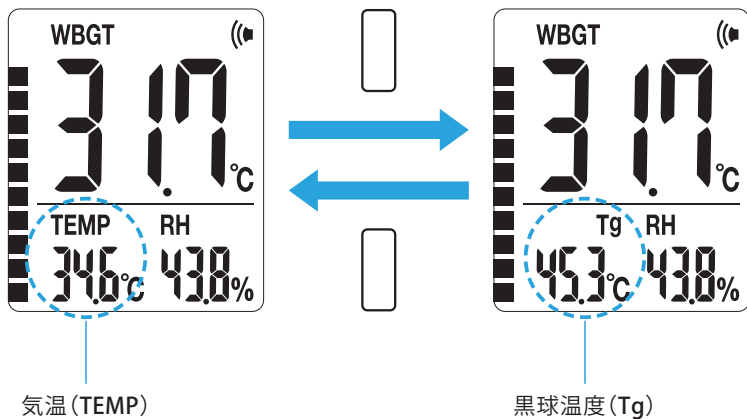
音量／表示切替ボタン  は本器の側面にあります。

お知らせ

- 音量「無」に設定しても、暑さ指数 (WBGT) が「危険」になるとアラームが鳴ります。
- 気温が高くなる室内や車内などに放置されると、暑さ指数 (WBGT) が「危険」になりアラームが鳴り続ける場合があります。
→ 無人で放置される場合は電源を切ってください。(P.19)

表示切替方法

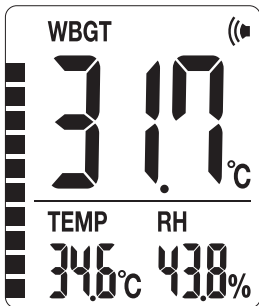
音量／表示切替ボタン  を押して、気温 (TEMP) と黒球温度 (Tg) の表示を切り替えて確認することができます。





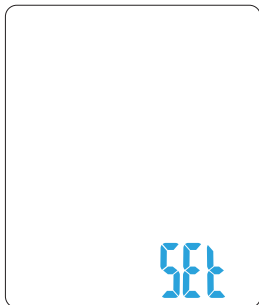
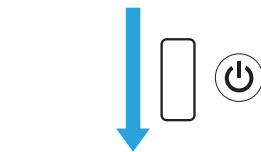
WBGT設定アラームモード


WBGT設定アラームモードでWBGTを設定した場合は任意のWBGTでアラームを鳴らすことができます。4段階の暑さ指数注意レベルのアラームはなりません。


1. WBGT設定アラームモードで測定を開始する

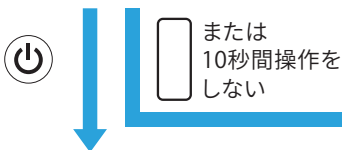


- 1 測定結果表示中に、音量／表示切替ボタン  と電源ボタン  を同時に3秒以上長押しします。

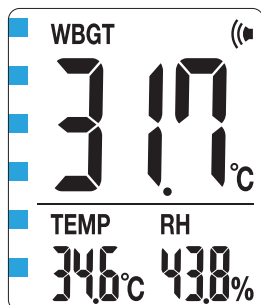
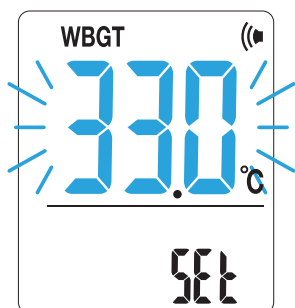
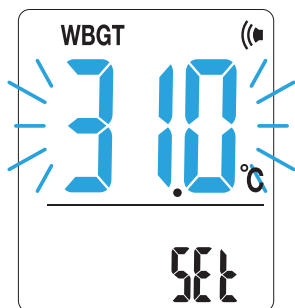



- 2 「SEt」が表示されたら、電源ボタン  を押して、設定を始めます。

- 音量／表示切替ボタン  を押す、または10秒間操作をしないと、測定結果表示に戻ります。




WBGT設定アラームモード (つづき)



- 3 WBGTの数値が点滅表示します。
音量／表示切替ボタン  を押すと、数値が繰り上がります。

- 音量／表示切替ボタン  を長押しすると、早送りします。

- 4 設定値を選択したら、電源ボタン  を押して決定します。

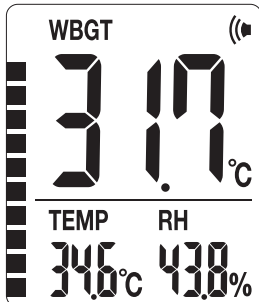
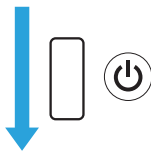
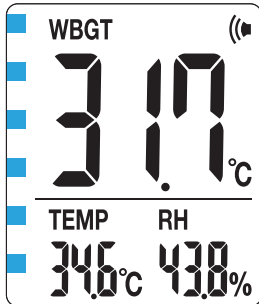
- 5秒以上操作をしないと、表示されている数値でWBGTが設定され、自動でWBGT設定アラームモードを開始します。

- 5 WBGT設定アラームモードで測定を開始します。

- 測定中は暑さ指数注意レベルの判定が無効になり、グラフは交互に点滅表示します。

WBGT設定アラームモード (つづき)

2. WBGT設定アラームモードの測定をやめる



- 1 WBGT設定アラームモード測定中に、音量／表示切替ボタンと電源ボタンを同時に3秒以上長押しします。

- 2 測定結果と暑さ指数注意レベルが表示されたら、WBGT設定アラームモードが終了します。

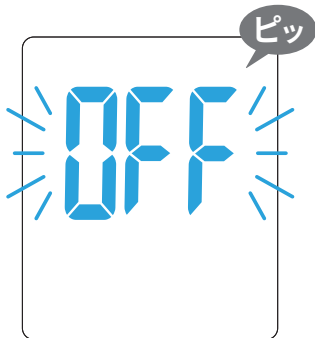
お知らせ

- アラームは「危険」のときと同じ鳴りかたです。
- WBGT設定範囲は20.0～50.0°Cです。
- 通常の測定を行ったり、電源を切ったり、または電池を抜き差ししても、設定したWBGTは保持されます。

電源を切る方法・入れる方法

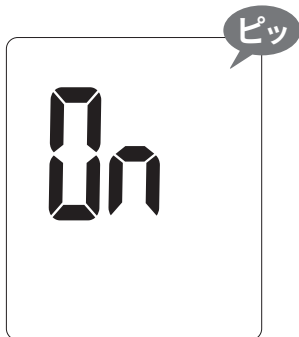
1. 電源を切る方法

測定結果表示中に電源ボタン $\text{\textcircled{P}}$ を約3秒間長押しすると、電源が切れます。



2. 電源を入れる方法

電源が切れているときに、電源ボタン $\text{\textcircled{P}}$ を約3秒間長押しすると、電源が入ります。

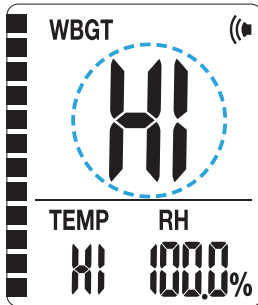


測定範囲外の表示について

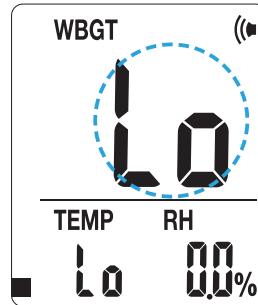
WBGT、気温 (TEMP)、黒球温度 (Tg) が測定範囲外になると「Hi」または「Lo」表示されます。

1. 暑さ指数 (WBGT) が測定範囲外の場合

50.0°Cを超えると「Hi」が点灯

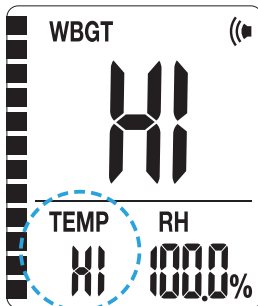


0.0°C未満は「Lo」が点灯

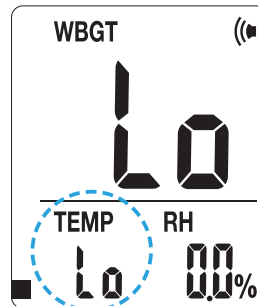


2. 気温 (TEMP) が測定範囲外の場合

60.0°Cを超えると「Hi」が点灯



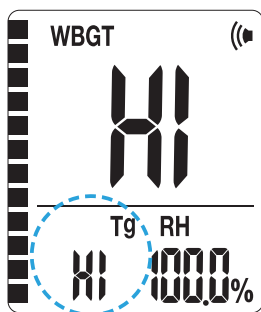
-10.0°C未満は「Lo」が点灯



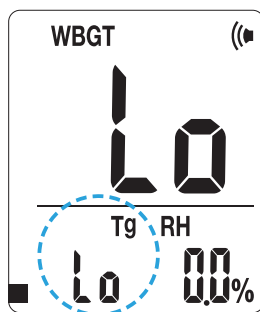
測定範囲外の表示について (つづき)

3. 黒球温度 (Tg) が測定範囲外の場合

60.0°Cを超えると「Hi」が点灯



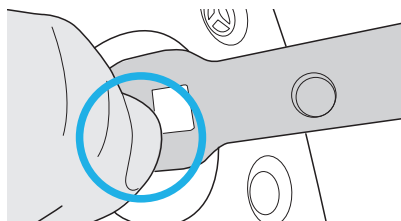
0.0°C未満は「Lo」が点灯



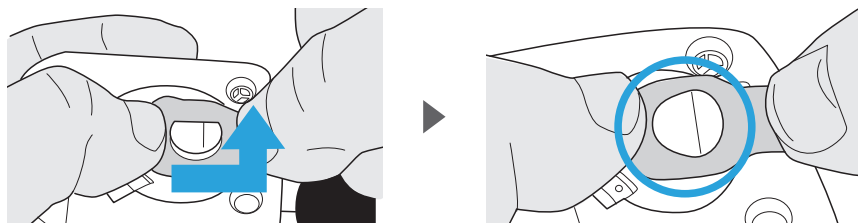
つり下げ用アタッチメントと カラビナ／三脚取り付け用電池フタ

1. つり下げ用アタッチメントの取り付け

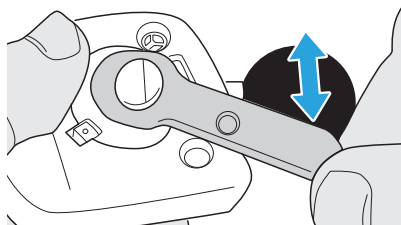
- ① つり下げ用アタッチメントの四角い穴を電池フタのフックに合わせる。



- ② 左手親指でつり下げ用アタッチメントの根元をしっかりと抑える。



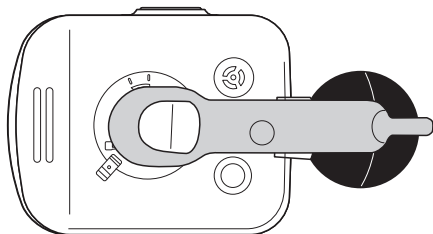
- ③ 右手でつり下げ用アタッチメントを持って、ひっぱり持ち上げながらフックへはめ込む。



つり下げ用アタッチメントと カラビナ／三脚取り付け用電池フタ

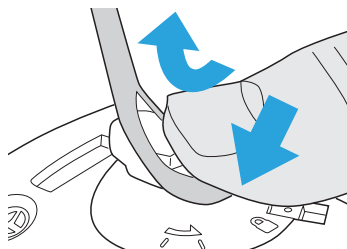
(つづき)

- 完全にフックに入っているかを確認するためにつり下げ用アタッチメントを左右に動かしてから黒球の裏側に来る位置に合わせる。



2. つり下げ用アタッチメントの取り外し

- つり下げ用アタッチメントが付いている電池フタのフックを親指で抑え、つり下げ用アタッチメントを上側(矢印方向)に引っ張って外す。



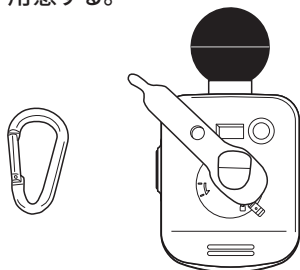
つり下げ用アタッチメントと カラビナ／三脚取り付け用電池フタ

(つづき)

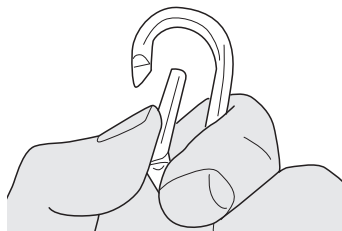
3. カラビナの取り付け

つり下げ用アタッチメントを取り付けて、カラビナを取り付けます。

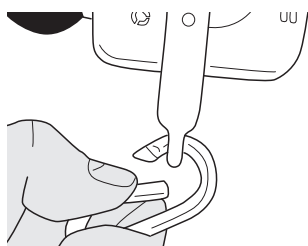
- 1 つり下げ用アタッチメントを電池フタのフックに取り付けた状態でカラビナを用意する。



- 2 カラビナを開ける。



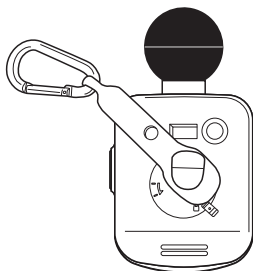
- 3 カラビナをつり下げ用アタッチメントの取り付け穴に通す。



つり下げ用アタッチメントと カラビナ／三脚取り付け用電池フタ

(つづき)

- ④ カラビナ取り付け終了。



4. カラビナでつり下げて測定する

- ① ズボンのベルト通しなどにカラビナなどでつり下げて使用する。



- ② フックなどにつり下げて使用する。



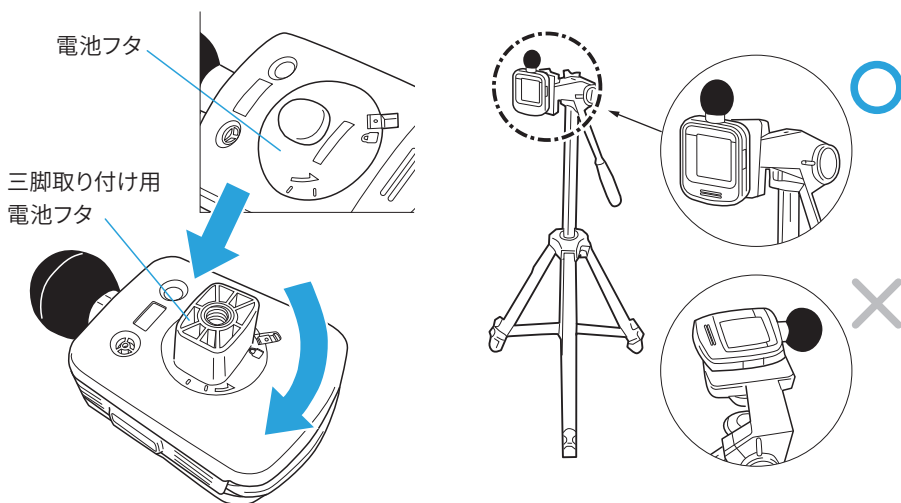
つり下げ用アタッチメントと カラビナ／三脚取り付け用電池フタ

(つづき)

5. 三脚に取り付けて測定する

付属の三脚取り付け用電池フタを使用すると、本器を三脚に取り付けることができます。

① 電池フタを三脚取り付け用電池フタ(付属品)に交換して、三脚に取り付ける。



お知らせ

- 三脚への取り付けは黒球が上になるようにセットしてください。
→黒球が横向き(表示面が上)になっていると「気温」などが通常より高くなり正確に WBGTが測れません。
- 三脚は付属していません。
- 三脚に取り付けるときは三脚の取扱説明書をお読みください。
- 三脚取り付け用電池フタのめねじは呼び1/4を用いています。

熱中症予防指針

■ 日常生活における熱中症予防指針

WBGTによる 温度基準域	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生 する危険性が大きい。
嚴重警戒 (28℃以上～31℃未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温 の上昇に注意する。
警戒 (25℃以上～28℃未満)	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的 に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこ る危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。

■ 注意すべき生活活動強度の目安

軽い	中等度	強い
休息・談話	自転車(16km/時未満)	ジョギング
食事・身の回り	速歩(95～100m/分)	サッカー
楽器演奏	掃除(はく・ふく)	テニス
裁縫(縫い、ミシンかけ)	布団あげおろし	自転車(約20km/時)
自動車運転	体操(強め)	リズム体操
机上事務	階段昇降	エアロビクス
乗物(電車・バス立位)	床磨き	卓球
洗濯	垣根の刈り込み	バドミントン
手洗い、洗顔、歯磨き	庭の草むしり	登山
炊事(料理・かたづけ)	芝刈り	剣道
買い物	ウォーキング(107m/分)	水泳
掃除(電気掃除機)	美容体操	バスケットボール
普通歩行(67m/分)	ジャズダンス	縄跳び
ストレッチング	ゴルフ*	ランニング(134m/分)
ゲートボール*	野球・ソフトボール*	マラソン

* 野球・ソフトボールやゴルフ、ゲートボールは、活動強度は低いが運動時間が長いので要注意
 ※日本生気象学会：日常生活における熱中症予防指針Ver.4, 2022 より

水分・塩分補給の目安

■ 日常生活における水分補給

通常の生活では食事等に含まれる水分を除いた飲料として摂取すべき量は1日あたり1.2ℓを目安とする。

■ 運動時や作業時の補給

水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量の発汗がある場合は、スポーツ飲料などの塩分濃度0.2%程度の水分を摂取する。

作業前: コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する(コップ一杯200mL)。

作業中: コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに補給する。

作業後: 30分以内に水分・塩分を補給する。

■ 飲酒時の補給



アルコール飲料は利尿を促進するので、飲酒後は水分・塩分を十分に補給する。

■ 空調装置使用時の補給

空気が乾燥するので、こまめに水分・塩分を補給する。

※日本生気象学会：日常生活における熱中症予防指針 Ver.4, 2022 一部文章改編

故障かな?と思ったら

電池マーク  が点灯した	電池が消耗しています。速やかに新しい電池 (CR2032) と交換してください。 (☞P.11～P.12)
黒球温度 (Tg) 以外「----」表示が出た	電池を入れ直してください。症状が改善されない場合は速やかに新しい電池と交換してください。(☞P.11～P.12)
電池を入れたのに何も表示しない	電池の向きはあっていますか? 電池の ⊕ ⊖ の向きをお確かめください。(☞P.11～P.12) 電池が消耗しています。速やかに新しい電池 (CR2032) と交換してください。 (☞P.11～P.12)
アラーム音を小さくしたい、または消したい。	切替ボタンを約2秒間長押しすると、音量表示が切り替わり、アラーム音量を「小」または「無」に切り替えることができます。 ただし、暑さ指数(WBGT)が「危険」のときはアラームは必ず鳴ります。
アラーム音が鳴らない、または大きくしたい。	アラーム音量を「無」にしていると危険レベル以外は鳴りません。表示の「音量表示」マークをご確認ください。(☞P.14) 電池が消耗している場合がありますので、速やかに新しい電池 (CR2032) と交換してください。(☞P.11～P.12) 粉塵、ほこりや水が入り込んでいるおそれがあるので吸い取るなど掃除をしてください。
レベルバー表示が消えない	暑さ指数注意レベルのレベルバーはWBGTが22.0°C未満のときも常に表示します。
電源を消したい	電源ON/OFFボタンを  約3秒間長押しすると電源OFFできます。 (☞P.19)
「Lo」「Hi」表示になった	測定範囲外では「Lo」「Hi」の表示になります。 (☞P.20～P.21)
表示される気温 (TEMP) が高く感じる	つり下げ位置によっては、人の体や近くの物の影響で気温 (TEMP) が高く表示されることがあります。
表示される測定値が変化する	通気口部分を手や物でふさいだりすると、気温や湿度に影響をあたえ測定値が変わるおそれがあります。
相対湿度 (RH) が高いあるいは低い	保存環境を超える高温、低温、高湿、低湿で長時間の使用、保管すると、正確な測定ができなくなるおそれがあります。 ▶保存環境を超えた状態で長時間置かれた場合は、十分換気がされた、保存が可能な環境に移動して、12～24時間程度放置してから使用してください。 ▶高濃度の揮発性有機化合物、酸、アルカリ、腐食性ガス、還元性ガス、シリコンを含むスプレーなど強いにおいのある環境下で使用したり保管すると、故障するおそれがあります。(☞P.6)
電池の消耗が速い	アラーム(危険レベル)が鳴る回数が多いなどお客様の使用環境条件により、電池寿命が短くなる場合があります。

仕様

規 格	JIS B 7922:2023 準拠	
精度区分	クラス2	
暑さ指数 (WBGT)	測定範囲	0.0~50.0°C 0.1°C単位 (0.0°C未満はLo表示、50.0°Cを超えるとHi表示)
	精度	15.0~40.0°C ±2.0°C
気温 (TEMP)	測定範囲	-10.0~60.0°C 0.1°C単位 (-10.0°C未満はLo表示、60.0°Cを超えるとHi表示)
	精度	-10.0~60.0°C ±1.0°C
相対湿度 (RH)	測定範囲	0.0~100.0% 0.1%単位
	精度	20.0~90.0% ±3.0%
黒球温度 (Tg)	測定範囲	0.0~60.0°C 0.1°C単位 (0.0°C未満はLo表示、60.0°Cを超えるとHi表示)
	精度	0.0 ~ 50.0°C ±1.0 °C、50.0 °Cを超えると ±1.2 °C
測定間隔	約30秒に1回	
使用条件	気温	-10.0~60.0°C
	相対湿度	0.0~100.0%
	風速	0.3~3m/s
保管条件	気温	5.0~60.0°C
	相対湿度	20.0~80.0% (結露なきこと)
暑さ指数注意レベル*1	4段階(「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」) 12レベル(暑さ指数(WBGT)が20.0°C以上で表示)	
アラーム	アラーム時間	最長約15秒(各注意レベルで音の鳴りかたが異なります。)
	音量	3段階:75dB(大)、65dB(小)、無
防じん防水保護等級	IP65*2	
電 源	3VDC CR2032 コイン形リチウム電池×1個	
電池寿命	約8カ月(1日4時間使用時)	
寸 法	約 幅60×高さ112×奥行33mm	
質 量	約79g(電池、つり下げ用アタッチメント、カラビナ含む)	
主な材質	耐熱ABS、PMMA	
付 属 品	お知らせ TC-301(保証書付)、つり下げ用アタッチメント、 カラビナ、三脚取り付け用電池フタ、 お試用電池:CR2032コイン形リチウム電池、 保管用袋(本器が納められている袋)	

*1:暑さ指数注意レベルは日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022)に基づいて判定しています。

*2:IP65とは「粉じんが内部に侵入するのを完全に防止するもの」「あらゆる方向からの噴流水を受けても有害な影響がないもの」というJIS C 0920の規格です。

※デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

※「熱中アラーム」は株式会社タニタの日本国での登録商標です。

株式会社 **タニタ**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル

 **0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ
ダイヤル

 **0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～17:00 (祝日を除く月～金)

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1